

(独)工業所有権情報・研修館委託 IPランドスケープ支援事業 基本情報

IPランドスケープ支援事業 事務局 殿
下記の通り利用申請を致します。

記載年月日

設問内容（見本）

※回答の記載における注意

- ・黄色い回答欄は選択式です。プルダウンより回答を選択ください。
- ・青い回答欄は記述式です。回答欄（セル）のサイズに収まる程度の分量を目安にご回答ください。（サイズを超える回答も記載することは可能です。）
- ・所定の場合（「その他」の場合など）に回答が必要／不要等の指示がある場合を除き、全設問にご回答ください。

申請者（企業・団体等）・担当者に関する情報	
1-1.	申請者（企業・組織名）
1-2.	法人番号
1-3.	申請者種別 「単独の大企業が1/2以上出資」または「複数の大企業が2/3以上出資」していますか（企業のみ要回答）
1-4.	所在地 ※支援について都道府県の知財総合支援窓口からご連絡をする場合がございます。支援対象の事業を行う部門の所在地を回答ください（例：本社は東京だが静岡支社の事業の支援を受けたい場合は静岡の住所）
	郵便番号 都道府県 市区町村 以降の住所
1-5.	業種（創業前の場合は実施予定の事業の業種） L「その他」の場合概要を記載
1-6.	資本金（ない場合は回答不要）
1-7.	従業員（構成員）数
1-8.	業歴（創業前の場合は回答不要）
1-9.	WebサイトURL（ある場合のみ記載）
1-10.	連絡担当者氏名
1-11.	連絡担当者所属部門・役職
1-12.	連絡担当者電話番号
1-13.	連絡担当者メールアドレス ※事務局より提供するオンラインシステム「IPL支援ポータル」に登録するメールアドレスとなります。当該アドレスはログインIDとして使用する他、IPL支援ポータルにメッセージやファイルの投稿があった際の通知メールも当該アドレスに届きます。 ※セキュリティの観点から、複数アドレスの登録は原則できません。
1-14.	この事業を知ったきっかけ（主なもの1つ） L「その他」の場合概要を記載
1-15.	知財担当部門・担当者の設置状況
1-16.	INPIT、経済産業局、その他公的機関から、研究開発等に関する補助金等（例：INPITの外国出願補助金（※）など）に採択された実績、特許庁・INPITが提供する伴走支援（知財経営支援モデル地域創出事業、iAca、iNat、IPASなど）に採択された（支援を受けた）実績、その他の受賞や認定を受けた実績等について、その名称（補助金名、事業名等）、採択された年度と公募回、相手（機関名）等をご記載ください。（ある場合のみ記載） ※以下を参照のこと： https://www.inpit.go.jp/shien/gaikoku/index.html

申請者種別

- 中堅・中小企業
- スタートアップ企業
- 中堅・中小企業者で構成されるグループ
- 個人事業主
- 地方公共団体
- 公設試験研究機関
- 都道府県等中小企業支援センター
- 商工会議所や商工会等
- 事業協同組合
- 大学、高等専門学校、高等学校等の教育機関

業種

- 農林水産業
- 建設業
- 製造業
- 情報通信業
- 運輸・倉庫業
- 卸・小売業
- 技術サービス業
- 宿泊・飲食業
- 生活関連・娯楽業
- 教育・学習支援業
- 医療・福祉
- その他

本事業を知ったきっかけ

- INPITの本事業ウェブサイト
- 本事業パンフレット
- 本事業に関連するセミナー
- 知財総合支援窓口
- 経済産業省知的財産室
- 事務局による情報発信
- 中小企業支援センター
- その他

INPIT知財総合支援窓口の支援有無に関する情報		
2.	INPIT知財総合支援窓口の支援を受けて本申請を作成された場合は、支援を受けたINPIT知財総合支援窓口の都道府県をご選択ください。 その上で自由回答欄にて、担当者の氏名をご記入ください。 ※本欄に担当者名を記載する際は、必ず担当者の同意を得てからご記載ください	
海外展開の可能性 本分析対象事業について、将来的な海外展開の意向についてお聞かせください。		
3.	将来、海外で事業を展開する可能性	ある／ない／不明の3択より選択
	L「ある」（検討している／関心がある）	想定している海外展開先・地域等

IPランドスケープ支援事業 事務局 殿
下記の通り利用申請を致します。

設問・記入例

※回答の記載における注意

- ・黄色い回答欄は選択式です。プルダウンより回答を選択ください。
- ・青い回答欄は記述式です。回答欄（セル）のサイズに収まる程度の分量を目安にご回答ください。（サイズを超える回答も記載することは可能です。）

※全設問に共通の回答のポイント

- ・客観的かつ簡潔な記載を心がけてください。情報量の多さよりも、ポイントをおさえた分析ができていることがプラスの評価につながります。
- ・わからない点は無理に記載せず、わからないということをご回答下さい。わからない点を把握できていることがむしろプラスの評価につながります。
- ・特定の顧客名等の記載は不要です。

設問1.対象事業の現在・将来に関する設問

<p>1-1. 分析対象とする研究成果（シーズ）を活用した「将来」について</p> <p>①研究成果を活かして、誰にどのような価値（喜び、幸せ）を提供したいのか</p> <p>②その価値をどのような製品・サービスを通して提供したいのか</p> <p>③その製品・サービスを実現するために、こういった形でビジネスに関わりたいか（企業と共同研究しビジネスにも技術面で関わりたい、ご自身で起業したい、論文公開を通じてビジネスに自由に活用してもらいたい等）</p> <p>④研究成果を活かすことで、どのような点で、将来的な製品・サービスに他社との違いや競争力を生み出せると考えるか についてご説明ください。</p>	<p>分析対象とする研究成果は、有機/無機ハイブリット型高分子の精密重合技術である。</p> <p>①繊細な素材・用途、高付加価値製品を取り扱う事業者向けに、穏和な条件で、作業工数・費用負担・処理時間をかけることなく表面汚れの除去を可能とする洗浄剤を提供したい。</p> <p>②素材・用途、製品に応じてカスタマイズ設計された洗浄剤（有機/無機ハイブリット型高分子）により提供可能と考えている。</p> <p>③社会実装のため、自ら起業し、近々スタートアップ企業を創業する予定である。上記高分子型洗浄剤の最大の特徴は、対象に応じた適度な洗浄力で無機・有機物の除去を一度に行えることであり、汚れを吸着し洗浄効果を発揮する機能構造を高分子鎖中に組み込み、その部分構造の割合を制御した成分とすることがコア技術であるため、ライセンス付与ではなく技術開発から事業運営まで一貫して行う体制を社内に構築する予定である。</p> <p>④分析対象の有機/無機ハイブリット型高分子の精密重合技術は、使用する重合開始剤と部分構造との組み合わせにより達成されるものであり、高分子化合物や製造方法を権利化（特許第7XXXXXX号公報、特許第7XXXXXX号公報）している。また、本学には製造ノウハウが豊富にある。</p> <p>既存メーカー様では汎用的な洗浄剤を製品化し、事業者様はそれらの中から所望の洗浄効果が得られるものを選択していると推測するが、本研究成果により、製品化に際して高純度が要求される素材（部品）や繊細な素材を扱う場合（例えば、精密機器、自動車塗装や衣服類などの高級嗜好品）あるいはニッチ市場のユーザーに向けて、オーダーメイドによる洗浄剤の提供が可能になり、これまで実現できていなかったニーズ・課題に応えられると考えている。</p>
---	---

<p>1-2. 分析対象とする研究成果（シーズ）の社会実装に向けた「現在」について、上記でご回答いただいた将来構想の実現に向けた検討や準備の状況や成果についてご説明ください。</p> <p>特に以下の点についてご説明ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究成果の特許等権利化の状況 ・企業との共同研究を志向する場合、パートナー企業の目星の有無、探索状況 ・スタートアップの創出など自ら起業を志向する場合、GAPファンドの獲得状況、人材の確保や創設に関する状況 ・その他、学会発表や論文投稿、展示会出展など取り組まれていること <p>なお、機密性の高い情報（例えば、出願中の特許、共同研究に関する相手先企業の名前、詳細な研究テーマ等）を含まないように、伏字や概要のみの記載とするなどしてください。</p>	<p>1-1.に記載したとおり、基礎となる特許は、日本において権利化済である。</p> <p>上記の他、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究成果の特許化の状況 重合開始剤（マクロRAFT剤）に関する特許を審査請求中（特開2023-XXXXXX号公報、特開2023-XXXXXX号公報） ・創業に関する状況：●●検証支援、■事業、▲▲補助金に採択 ・有機/無機ハイブリット型高分子の研究に関する成果 査読付き学術論文リスト、学会発表・招待講演実績、科研費・研究助成財団からの研究助成金獲得など
<p>1-3. 分析対象とする研究成果（シーズ）の「将来」へ向けた検討状況について、ここまででご回答いただいた「将来」「現在」を対比して、「将来」を実現するために、現時点でどのような課題があると感じているか、ご回答ください。</p> <p>その上で、記載いただいた課題を解消するために、具体的に検討や対応を進めている場合は、その検討や対応の内容についてもご回答ください。</p>	<p>①新規事業領域について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄剤に関する学内でのニーズ調査から、研究室毎で所望の洗浄効果が得られる成分を選択し、複数組合せて洗浄しているケースを確認しており、洗浄機能をアレンジ可能な有機/無機ハイブリット型高分子の活用先として、洗浄後に特定成分の混入を望まない分野/特定成分以外の洗浄除去が必要な分野や、材料表面への低襲撃性が必要な分野（肌表面やシルク生地等）が有望領域であるとみている。その代表例である、衣服類、自動車塗装、精密機器など的高级嗜好品市場への参入可能性の検証材料の入手が課題である。またこれら以外のニッチ市場（例えば、洗浄と同時に抗菌性も付与したいなど）への参入可能か検討したい。 <p>②競争優位性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、漠然とした候補市場があるのみで、各市場でのニーズ・課題や、既存メーカーとの差別化はカスタマイズ能のみで出せるのか、何を強みにしてどのような戦略で販売するか等、参入すべき市場の絞り込みができておらず、情報収集にも着手できていない。

設問2. 本事業による支援のイメージに関する質問

2-1. 設問1の回答を振り返り、貴機関が将来に向かうために、本事業の報告書からどのような示唆を得たいですか？
 言い換えれば、何を把握することが、貴機関が将来に向かうための課題と考えますか？
 まず選択肢より最も近いものを1つご回答ください。（※複数ある場合は、**上位2つまで**優先順位がわかる形でご回答ください。）

 その後、自由記載欄にて「優先順位1」「優先順位2」それぞれの項目の内容に対する詳細をご説明ください。

選択肢	
1	①研究成果を活かせる新たな市場はどこか
	②将来的な競争力獲得に向けた自社の差別化要因は何か
	③好適な共同研究相手としてのパートナー企業はどこか
	④製品・サービス開発に向けた好適なパートナー企業はどこか
	⑤生産・販売に向けた好適なパートナー企業はどこか
	⑥有望な新規領域はどこか
2	⑦研究開発の方向性の修正要否
	⑧参入予定の新規市場で想定される競合企業はどこか
	⑨有望な特許活用先はどこか
	⑩連携相手候補と連携した際にどのようなシナジーが想定されるか
	⑪その他
自由記載	
①に関し、高級嗜好品領域や人手による作業工数・時間をかけた洗浄を行うようなニッチ市場の中で、無機物成分・有機物成分を同時に洗浄することが求められる市場を把握したい。特に、1-3.で記載した候補市場における、洗浄剤化合物の動向、競合企業・シェア率を把握したい。 ⑦に関し、①で探索された市場に参入するにあたって、当該市場における洗浄に関しどのような問題・課題があり、解決にはどのような製品を販売すべきか、他社と比較した時の差別化（例えば、洗浄剤としての機能）をどの点に設けるのがよいか把握したい。特に、高分子中の部分構造を変えることで特定成分に絞った洗浄除去が可能となる強みを活かした研究開発方針を把握したい。	

<p>2-2. どのような知財情報と市場情報の分析を組み合わせれば、2-1.で回答いただいた目的は達成されると考えていますか？知財情報と市場情報の両面からご回答ください。</p> <p>※イメージが難しい方は、本事業のHPにて紹介している事業説明資料や、IPランドスケープマニュアルを参考にしてください。</p> <p>※ご自身である程度の情報や考えをお持ちの場合、それらも交えてご回答ください（例：現状連携の候補として、A、B、C社が挙がっており、これら3社について●と▼を分析することで・・・等）。</p> <p>※ご回答いただきました内容の分析を実施することをお約束するものではありません。採択時に調査観点や実施する調査項目の絞り込みをお願いする場合や、ヒアリングを通じて専門家・事務局より適切な分析内容をご提案させていただく場合があることをあらかじめご承知おきください。</p>	<p>【知財情報の分析】から、（ハイブリッド型高分子に限らず、）洗浄剤用の化合物（高分子・低分子）がどのような分野で用いられているかを把握し、無機物成分・有機物成分を同時に洗浄することが求められる分野を把握したい。同時に、洗浄剤分野では、一般的にどのような課題があり、充分には解決できていないものは何か、どのような知財戦略の取り組みをしているのかを把握し、有機・無機ハイブリッド高分子化合物の特徴を活かせる市場と課題を把握したい。その際、洗浄後に特定成分の混入を望まない分野/特定成分以外の洗浄除去が必要な分野や、材料表面への低襲撃性が必要な分野（肌表面やシルク生地等）における課題・ニーズを優先的に把握し、洗浄機能のアレンジ有効な物性（pH、不純物成分、付与機能等）を把握したい。</p> <p>【市場情報の分析】から、有機・無機ハイブリッド高分子化合物の特徴を活かせる市場規模や競合シェア率に加え、市場トレンドや直近での顧客ニーズにマッチした製品情報の入手が必要と考えている。したがって、直近のBtoC市場動向についても把握したい。また、PB品が多数あるため、そのPBはどこメーカーが作っているかも知ることができれば、ライバルがより明確になる。</p> <p>これらを組み合わせ、参入できる市場と、競合他社と差別化可能な市場トレンドや顧客ニーズにマッチするような研究開発の方向性をご提案いただきたい。</p>
---	--

設問3. 支援後の活用ビジョン

<p>3. 支援終了後、本事業で提供させていただいた報告書や報告会での議論等に基づき、「いつ」「どのような体制で」「どのようなアクションを取る」ことで設問1にて回答いただいた将来像を実現していく想定なのか具体的に記載をしてください。</p> <p>また、ご回答いただいた内容を実現可能とする体制があることについてもご説明ください。</p> <p>※「いつ」については、直近／短期／中期（例えば支援終了後1か月、6か月、1年など）のそれぞれについてご回答ください。</p>	<p>■20XX年3月末：創業の適否を判断 現在獲得している主な補助金は20XX年度までが支援対象なため、その時点での潜在競合と優位性を整理し、①知財情報も踏まえた事業戦略の精査、②創業後の初期顧客候補について検討する。</p> <p>■20XX年9月末：経営リソース確保 新会社としての経営リソースを充足できそうか判断する。具体的には、【人材】CEOを含む組織体制の構築、【計画】事業戦略と実行力の確保、【資金】VC/CVCから必要資金を調達できそうか検証する。</p>
---	--